

## 中沖小で 児童主催の秋祭り

11月5日(土)、中沖小学校の校庭において、新型コロナウイルス感染症の影響で延期とした第12回「中沖夏祭り」が「中沖秋祭り」として3年ぶりに開催されました。

同校の児童が実行委員となり、祭りの企画や準備、当日の進行などをおこないました。規模を縮小しての開催となりましたが、ヨーヨー釣りや射的、くじなどの出店、舞台ではダンスの披露やクイズがあり、大盛り上がりの祭りとなりました。

6年生の上村蒼太さんは「みんなで準備や運営をして楽しかったです。地域の人も来てくれて嬉しい」と話してくれました。



## 特産品フェアを開催

11月5日(土)、マルおおさきにおいて、大崎町ふるさと特産品振興事業協同組合主催の「秋の味覚特産品フェア」が開催され、大崎町、阿久根市、宮崎県三股町の特産品が集まり、各地域の魅力を来場者にPRしました。

これは、同組合が大崎町の特産品の魅力を広くPRすることを目的にこれまで各地の道の駅や祭りなどで活動する中で、他の市町と交流を深め、本町でも各地の特産品を集めたイベントを開催しようと企画されたものです。

大崎町からは13事業所が出品し、賑わいました。



## 津波避難訓練を実施

11月4日(金)、大丸・菱田・大崎校区(志布志湾沿岸部)を中心に「津波避難訓練」を実施しました。

これは、南海トラフ大地震による大規模災害を想定し、避難経路や避難場所の確認、町民の防災意識の高揚を目的に実施したものです。

小学生や住民は、避難場所である高台をめざし、真剣な表情で訓練をおこなっていました。